

限り五万円の助成を予定している。

安全・安心のネットワーク

地域活動拡大へ向け一本化

教育委員会と市長部局がそれぞれに取り組む、安全・安心のネットワーク事業の、今後の在り方は。

教育委員会の地域安全ネットワーク構築推進事業を、市長部局の安全・安心ネットワーク構築支援事業に引き継ぎ、現行の補助制度のもと、地域の活動の輪が一層広がるよう一本化する。学校と地域内の各種団体が幅広くネットワークを組んで活動できるよう進めていきたい。

救急車到着時間

短縮に向けて

合併により市域が拡大する中、救急車の現場到着時間短縮に向けた取り組みは。

本市の平成17年の平均到着時間は六・八分だが、全国平均の六・五分を目標に、救急隊の増隊を図るとともに、車両位置等自動表示システムにより災害直近の車両が救急事案に対応している。また、赤信号通過時に交差点の信号を青に変える緊急車両優先通行システム端末を全救急車に搭載し、遠隔地には消防ヘリが出勤するなど時間短縮を図っている。

保健福祉・教育・スポーツ



健康づくり、介護予防で医療費を抑制

医療制度改革を受けて、健康づくり、介護予防への取り組みは。

現在、医療や介護が必要とならないよう、また、元気な中高年を増やそうと、市民とともに「健康市民おかやま21」を進めている。平成20年度から生活習慣病に関する健康診査と健康

指導が義務付けられるが、この機会をとらえ、医療費が少なくなるよう、より一層病気の予防に努めたい。

Jリーグ入りを目指すフアジャーノ岡山を支援

Jリーグ入りを目指すフアジャーノ岡山を、市として支援する考えは。

市民と一緒に応援できるプロスポーツを持つことは、政令

市として大きなシンボルの一つとなる。フアジャーノ岡山をはじめ関係者と連携をとりながら、平成19年度には練習場の確保などの面で支援したい。



さらなる活躍が期待されるフアジャーノ岡山

灘崎幼保一体施設 職員体制を整備

灘崎幼保一体施設での幼稚園教諭と保育士の協力体制は。

幼稚園教諭も保育士の勤務ローテーションの一部に参加するなど、互いに協力し合うよう計画している。また、職員がすべての児童にかかわるため、職員間での共通理解を深める話し合いや準備・研修時間の確保に特に配慮し、施設の特徴を生かしながら、乳児期からの発達段

生涯学習フェスティバル 本年11月の開催に向けて

平成19年開催の全国生涯学習フェスティバルの準備状況と、全国へ発信する主な内容は。

11月2日から6日まで、県総合グラウンドを主会場に、県内全市町村で開催される。現在、国・県・市が連携して企画内容、役割分担などを協議している。本市の歴史や伝統文化などを生かした取り組み、子どもから高齢者まで幅広い世代の交流、今まで培ってきた公民館や図書館の活発な活動実績などを県内外へ発信したい。

子ども会加入率の向上策

子ども会加入率の低下が続くが、その原因と解決に向けた取り組みは。

親子とも忙しい、子どもの減少により子ども会がなくなつたなどの理由から、子ども会育成連絡協議会への加入率は、三四・一％となっている。今後、平成18年度に行った子ども会実

態調査をもとに、子ども会設置の啓発を行う予定だ。また、協議会に未加入の子ども会について、全中学校区で懇談会を開催し、実態把握や課題の共有、市の諸制度の説明を行い、加入を働きかけたい。

**贈らない！求めない！
受け取らない！**

政治家は公職選挙法により、選挙区内での寄附行為等が禁止されており、卒業・入学祝等を贈ること、地域行事に祝儀等を出すことができません。ご理解とご協力をお願いします。

次回本会議のお知らせ

2月定例会は2月22日(木)から3月22日(木)まで開催の予定です。

編集後記

11月定例会では、旧建部・瀬戸町との合併に関する多くの議案を審議しました。また、都市ビジョンの策定や政令市への移行、市民病院の在り方など本市の将来像に大きく関わる問題、さらには、いじめ・自殺問題など、市政全般にわたる重要な課題について論戦が繰り広げられました。市議会だより第四十四号ではこれらの内容についてお伝えします。